

～ 自動車検査員になるには ～

自動車検査員の資格

指定自動車整備工場（一般に「民間車検場」と呼ばれている）において、自動車の検査（車検）のため、点検整備を完了した車両が道路運送車両の保安基準に適合しているか否かの判断をする業務を行うための国家資格です。

自動車検査員の概要

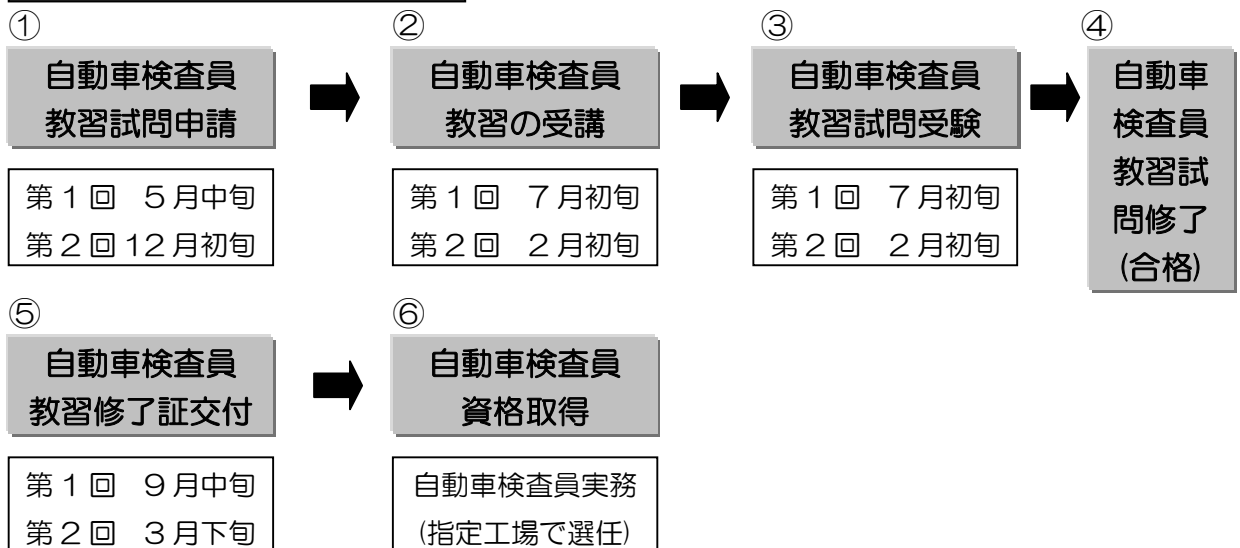
指定自動車整備工場（一般に「民間車検場」と呼ばれている）では国が行う検査の一部を代行しており、国の検査業務を行う自動車検査官と同等の知識と技能が要求されることから二級自動車整備士資格を有し、整備主任者としての実務経験があることが資格取得の主な条件となっています。

自動車検査員は、自動車の検査（車検）・保安基準適合証への証明・指定整備記録簿の検査結果記載等の重要な業務を行い、その使命と社会的地位は高いものとなっています。

自動車検査員の受講資格

1. 教習開始日の前日において、整備主任者として1年以上の実務経験を有する者
2. 指定自動車整備事業の指定を受けている事業場に従事している者
3. 指定自動車整備事業の指定を受けようとしている事業場に従事している者
4. 上記、2. 3. に勤務を予定している者
5. 直近の整備主任者研修を受講していること

自動車検査員教習試問の流れ



※ 上記、下段口内記載の日程は概ねの予定です。

日程詳細は群整振情報または群整振ホームページ等に掲載しますので、その都度確認をして下さい。